

問題の趣旨

情報を基に、それに関連する質問を考え、英文を書くことができるかどうかをみる。

学習指導要領における領域・内容

ウ 読むこと
 (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。
 エ 書くこと
 (オ) 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。

11 アメリカに住んでいる兄弟のトム(Tom)とマイク (Mike) が、ショッピングセンター (the Shopping Center) の中の Shop A~D の4つの店の広告を見比べて話をしています。その後、トムとマイクは広告にのっている品物を買うことになりました。会話文を読んで、あとの1~3の問いに答えなさい。

Tom : Next Sunday is our father's birthday. Let's buy a birthday present for him. I have 40 dollars.
 Mike : I have 40 dollars, too. Please use this for the present.
 Tom : Thank you, Mike. Look at this paper. The Shopping Center has four shops.
 Mike : That's good. ① _____ ?
 Tom : He wants a jacket.
 Mike : Oh... OK, but ② we can't buy a jacket.
 Tom : How about a shirt?
 Mike : That's nice. What color does he like?
 Tom : He likes yellow. Let's buy a yellow shirt. He wants a new belt, too. Let's buy a belt, too.
 Mike : Yes. We can buy them. Let's go to the Shopping Center now.
 Tom : OK. Let's go.

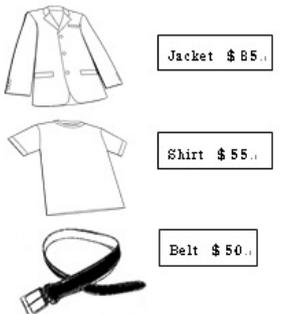
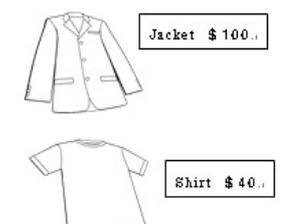
(注) next 次の buy ~ ~を買う
 dollar ドル (アメリカ合衆国などの貨幣(かいへい)単位)
 present プレゼント paper 紙
 how about ~? ~はどうですか。 color 色

1 文と文のつながりを考えて、下線部①に英語で1文を書きなさい。ただし、語数は3語以上とします。

(正答例)

① What does he want など
 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。

ショッピングセンターの中の Shop A~D の4つの店の広告。

<p>Shop A.</p>  <p>Jacket \$ 85. Shirt \$ 55. Belt \$ 50.</p>	<p>Shop B.</p>  <p>Jacket \$ 95. Bag \$ 90. Belt \$ 30.</p>
<p>Shop C.</p>  <p>Jacket \$ 85. Belt \$ 50.</p>	<p>Shop D.</p>  <p>Jacket \$ 100. Shirt \$ 40.</p>

(注) jacket ジャケット shirt シャツ belt ベルト
 \$ 85 85ドル(ドル アメリカ合衆国などの貨幣単位) shop 店

解答類型と傾向

	解答類型	割合 (%)
○	(例) What does he want	25.4
△	“What does he want” という解答について、内容を理解する上で支障のない誤り(例: 綴りの誤り、大文字・小文字の誤り、動詞の三人称単数形の誤り、符号の誤り等)が、1か所ある。	6.8
×	“What does he want” という解答について、内容を理解する上で支障のない誤り(例: 綴りの誤り、大文字・小文字の誤り、動詞の三人称単数形の誤り、符号の誤り等)が、2か所以上ある。	5.0
×	他の疑問詞から始まる英文を書いている。	5.3
×	疑問詞以外から始まる疑問の英文を書いている。	5.6
×	上記以外の解答	29.9
—	無解答	22.0

分析と課題

内容を理解する上で支障のない誤りが2か所以上ある解答も含めると「What does he want」と答えている生徒の割合は37.2%である。一方、「上記以外の解答」と「無解答」をあわせると51.9%であり、半数の生徒が文脈を捉え、疑問文を当てはめることが理解できていない。

質問紙調査との関連

(8) 英語の授業では、相手からの質問や依頼を聞くとき、相手が何を求めているのかを注意して聞き、それに答えるようにしています。

	よく	やや	あまり	全く
設問 11-1 回答状況別の通過率 (%)	47.9	30.9	15.9	6.4

英語の授業では、相手からの質問や依頼を聞くとき、相手が何を求めているのかを注意して聞き、それに答えるようにしていると回答した生徒ほど、適切な質問を考え英文を書く設問の通過率が高くなる傾向がある。

指導のポイント

単に英文1文の意味を文脈から切り離して理解させるのではなく、その文が使われる場面を意識しながら理解させる指導の工夫をしましょう。

方法
1

教科書で取り扱われている会話文を用いて、もう一文会話文に付け足す内容を考える活動

Daisuke: Do you like Japanese food?
Pat: Yes. I like sushi the best. It's very popular in Australia.
Daisuke: Have you ever been to a *sushi* restaurant with a conveyor belt? In Japan, we call it *kaiten-zushi*.
Pat: Yes.



「このあと続く文を考えて書いてみましょう。」

“In some restaurants in Australia, sushi goes around a track on a train.”



方法
2

3文程度からなる会話文の1文を抜き、次に続く文脈に合うように適切な形で表現する活動

Daisuke: _____?
Pat: Yes. I like sushi the best. It's very popular in Australia.
Daisuke: Have you ever been to a *sushi* restaurant with a conveyor belt? In Japan, we call it *kaiten-zushi*.
Pat: Yes. In some restaurants in Australia, sushi goes around a track on a train



「最初にダイスケが言った言葉を書いてみましょう。」

“Do you like Japanese food?”



方法3

教科書の新出の文法事項を示す基本文に、自分で考えた文を付け足す活動

文脈の中で言いたいことを表すのに適した書き方ができるよう意識させながら書く練習を重ねる。



【基本文】“I have played soccer for 8 years.” 「このあと続く文を考えて書いてみましょう。」

“So I want to start a new sport.”



“So I'm very good at playing soccer.”



英文を一から書き始めることにハードルがある場合

方法4

既に書かれている英文を活用する

Daisuke: Do you like Japanese food?
Pat: Yes. I like sushi the best. It's very popular in Australia.
Daisuke: Have you ever been to a sushi restaurant with a conveyor belt? In Japan,
① we call it kaiten-zushi.
Pat: Yes. In some restaurants in Australia, sushi goes around a track on a train.
② それらをすし列車レストランと呼ぶ人もいます。



「②を①の文をもとにして、書いてみましょう」

“Some people call *sushi* train restaurants.”



会話の流れに合った適切な内容をどう表現すればよいのかを、前後の文脈から考える。